

ペーパークラフト 『手のりアマビエちゃん』 作り

「アマビエ」について紹介。

京都大学附属図書館が所蔵する一枚の刷り物には、次のようなことが書かれています。

～ 弘化3年(1846)、肥後の国(熊本県)の海中に、毎夜光るものがあり、役人が確かめに行ったところ、海中に住む「アマビエ」と名乗る怪物が現れ「当年より6年の間は豊作が続くが、病気が流行するので自分の姿を映して見せるように」と告げて海中に消えた～との記載。左半分にはその「アマビエ」の姿が描かれています。

この妖怪が注目を集めたのは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴ったことでした。「アマビエ」の絵姿を写し、それを見ることで流行り病から免れることが出来る。海中の怪物が江戸時代末期に発したメッセージは、現在の私たちの最も切実な願いと重なりました。インターネット上では、コロナ終息の願いと共に「アマビエ」のイラストを投稿する人が続出、ネットを通じて日本中に瞬く間に拡散。いまや「アマビエ」は、一躍時の人、いや、「時の妖怪」となったのです。

新型コロナウイルス終息への願いをこめて作ります。



仙人の里 デイサービスセンター

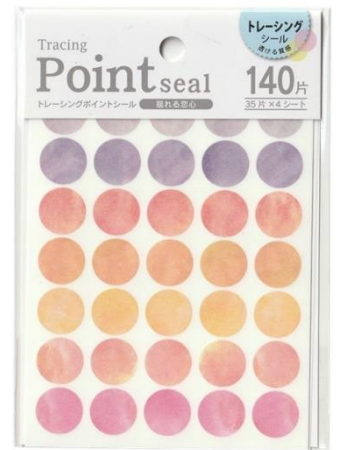


準備するもの

- ・紙コップ (中型 200 mlサイズ) ・毛糸 ・ポイントシール ・木工用ボンド ・のり
- ・ハサミ ・紙 (顔と耳用 下記のテンプレートを印刷してください)



紙コップは、カラフルで可愛いものが20～30個入りで税込み¥110です。



ポイントシールも様々な種類があります。色はお好みで。



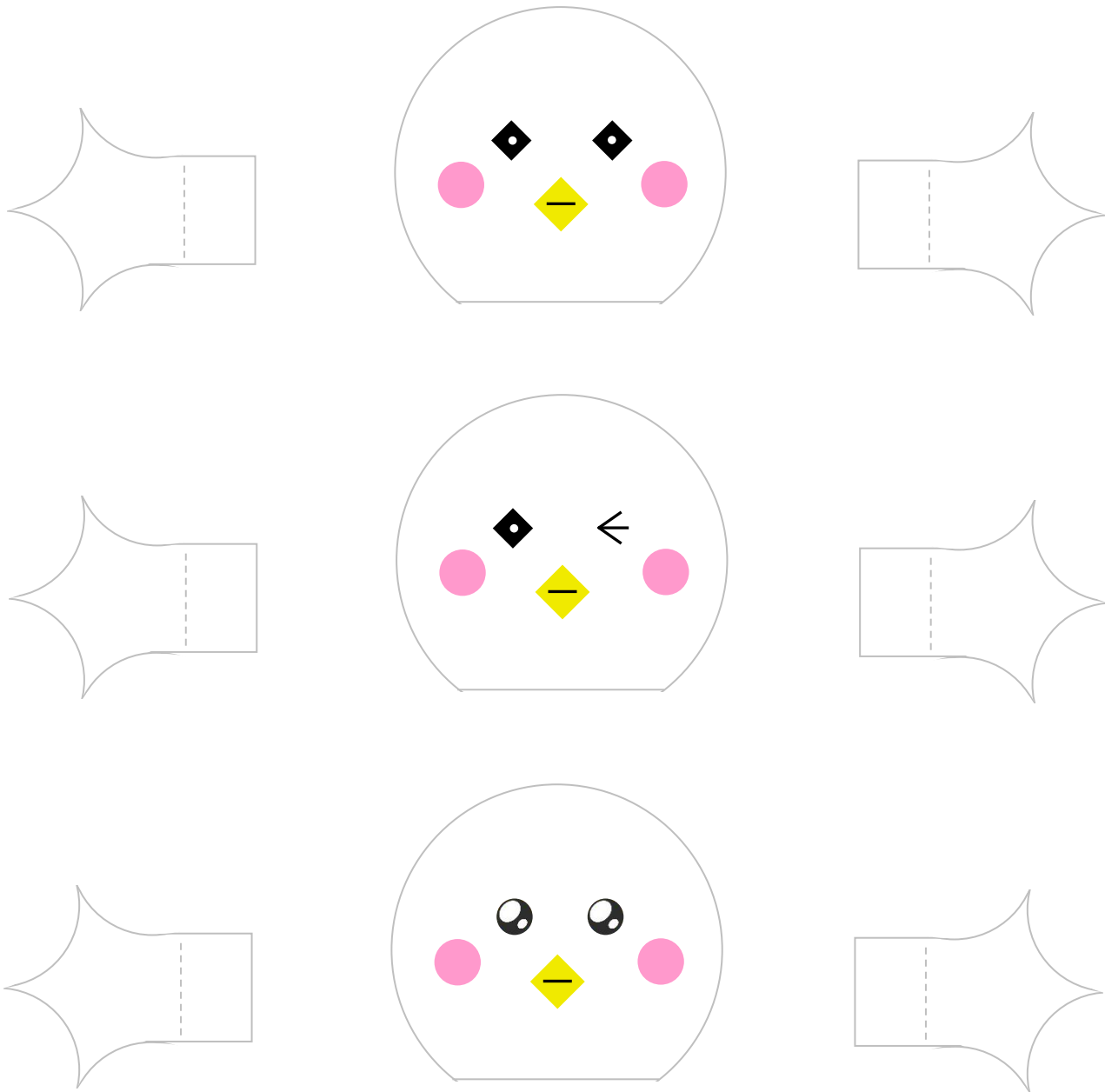
毛糸の色も、お好みで。
おすすめは、途中で色が変わる、淡い色のものです。
お店には、たくさんの種類がありますよ♪

顔 耳用 テンプレート

A4 サイズで、このまま印刷してください。

中型 200 ml サイズの紙コップにぴったりのサイズで、作ってあります。

手書きで顔を描く場合は、切り抜いた型の裏面の白紙部分に自由に描くことができますよ。



作り方



- ・紙コップの縁に、ハサミを使って1cm くらいの幅の切れ込みを入れていきます。
- ・ぐるっと1周切れ込みを入れたら、外側に向かってひらくように、軽く折り曲げます。
(足？ 足ヒレ？ を表現しています)



- ・印刷したテンプレート（前のページ）から、顔と耳（耳でしょうか、胸びれでしょうか？）を切り出します。
- ・細かな作業ですので、手を切らないように観察してあげてください。



- ・切り出した顔と耳を、1で切っておいた紙コップののりで貼りつけます。
- ・紙コップの底が頭側になります、頭側ギリギリに寄せて貼りつけるとバランスが良いようです。



- ・ポイントシールを、半分に切ります。1枚ずつ切るより、シートごとカットすると作業が楽です。



5

- ・半分に切ったポイントシールを、ウロコに見立てて体に貼りつけます。
- ・目安は3段です。下の段からはじめて、顔のほうに向かって貼り進めていくと、キレイに重なります。
- ・ポイントシールは張り直しが出来るので、微妙な位置調整はあとからでも大丈夫です。



6

- ・3段、貼り重ねたところです。顔と体は、これで出来上がり。



7

- ・髪の毛を作っていきます。
- ・毛糸を、なにかしらの硬いものに巻き付けて適量を準備します。ここではA4サイズのバイダーの横の長さに巻いています。
- ・目安は20回程度です。15回だと毛量が少な目、25回だとボリューム多めのウィッグになります。



8

- ・バイダーから静かに抜き取ったら、真ん中をしばってまとめます。
- ・両サイドの輪っかを、ハサミで切ります。髪の毛は、これで出来上がり。

9



- ・紙コップの底、頭頂部となるところに、ボンドを出します。たっぷり目がおすすめです。
- ・ボンドを出したところに、毛糸で作った髪の毛をのせて、しっかりとおさえます。
- ・前方、生え際となる部分にすき間が出来ないように、前の方からくっつけると、うまくいきますよ。

10



- ・完成！
- ・紙コップとポイントシールの色、毛糸の色を自由に選択していただくことで、この世にひとつだけのオリジナル作品が作れます。

活動時の様子

